

# ホテル日航アリビラ

—ヨミタンリゾート沖縄—

【建物概要】

住所：沖縄県中頭郡読谷村字儀間600

延床面積：38,000㎡

竣工：2012年12月(更新)



## 熱効率に優れた業務用エコキュートとのハイブリッド給湯で大幅にコストを削減

景勝地として知られる読谷村、残波岬に程近い「ホテル日航アリビラ」。青い海に映えるスパニッ シュココロニアル風の赤瓦屋根と白壁が美しいコースタルリゾート は、エコフレンドリーリゾートとして環境保護活動にも取り組んでいる。2014年6月には開業 20周年を迎え、記念イベントとしてスタッフによるダンシングパフォーマンスなどさまざまな取り組みを実施している。

同ホテルでは、これまで自家発電機からの廃熱と温水ボイラーを給湯熱源として使用。しかし、昨今の重油価格の高騰により、自家発電機の稼働を常用運転からピークカット運転へ変更せざるを得ない状況となり、廃熱利用ができなくなってしまうことが懸念事項だった。そこで新たな給湯システムの導入を検討し、白羽の矢が立ったのが省エネルギー性に優れている業務用エコキュートだった。割安な深夜電力を利用する業務用エコキュート4台の稼働によって省エネルギー効果も高まり、大幅なコスト削減に成功した。

**【新システムの導入イメージ】**

給湯往ヘッド 給湯還ヘッド

業務用エコキュートの導入

貯湯槽 17m<sup>3</sup> 貯湯槽 17m<sup>3</sup>

温水ボイラー 1,600Mcal/h 温水ボイラー 1,000Mcal/h

業務用エコキュート

給湯補給水

**設備概要 (新設)**

業務用エコキュート	加熱能力：40kw×4台 (三菱電機)
貯湯槽	：9m <sup>2</sup> ×2基
設備設計・施工	：ヤシマ工業 (株)

**一次エネルギー消費量削減効果**

9,349GJ 改修前

27.5% 削減

6,777GJ 改修後 -2,572GJ

(諸元) 同一負荷条件による年間シミュレーション比較  
一次エネルギー原単位 電気(昼間):9.97MJ/kWh、A重油:39.1MJ/l  
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」(2010年改正)

株式会社ホテルマネジメントジャパン  
ホテル日航アリビラ  
—ヨミタンリゾート沖縄—  
総務部 施設管理課長  
**亀谷 正則 氏**

**エコキュートの導入により大幅にランニングコストを削減 省エネルギー、省CO<sub>2</sub>で「エコフレンドリーリゾート」をアピール**

これまでの自家発電機の廃熱利用に代わる給湯システムを検討するに当たり、最も重要視したのは「コスト」でした。最終的に導入を決定した業務用エコキュートでは、大幅なランニングコストの低減と同時に、県の「観光施設等の総合的エコ化促進事業補助金」(補助対象経費の1/3を補助)を活用したことにより、初期投資は約3年で回収できる見込みで、当初の想定を上回る結果となったことに非常に満足しています。

省エネルギー、省CO<sub>2</sub>につながる業務用エコキュートの導入により、当ホテルが目指している「エコフレンドリーリゾート」をアピールできたことも嬉しいですね。

**改善内容**

従来、ホテルの給湯用温水の昇温には主に自家発電機の廃熱回収を用いており、重油焚き温水ボイラーを追い焚き用として運用していた。

業務用エコキュートを新設し、課題であった温水ボイラーの重油消費量を大幅に抑制することができ、設置後1年間の稼働で、約142,000ℓの重油消費が抑えられ、エコキュートの稼働分を加えても、年間2,572GJの一次エネルギー消費量の削減に成功した。